

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		相談員の声掛けに応じ担当者会議に参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		送迎の際に学校の先生との話を行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5		医療的ケア児に対しての受け入れを行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2	相談支援事業所と情報共有	以前通っていたところにも連絡をして、本人の情報を取得できるように努める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1	相談支援事業所と情報共有	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	研修委員会を基に専門機関からの研修を受講	こども連絡会などで関わりは持っているが、なかなか助言をもらうまでことが出来ていないため、積極的に話していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		地域との交流を求められていない保護者様もいるため、交流の仕方を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5		こども連絡会に参加	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		送迎時やLINEなどのツールも活用しながら伝えている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	保護者様が困っている時には支援の理解を伝えている	家族支援を通して、保護者様との情報共有に努める。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時に、運営規定・支援内容・利用者負担を丁寧に説明	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		送迎時やLINEなどのツールも活用しながら伝えている	家族支援を通して、保護者様との情報共有に努める。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	年に一度開催するようにしている	今年度中の開催を計画。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		話があればその日のうちに話し合いを設け、保護者様へ伝えるようにしている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		年に4回会報を発行。日々の活動内容やイベント内容を保護者様に発信する	
	35	個人情報に十分注意している	5		外部と共有するときには、氏名に○などを使っている	廃棄書類はシュレッダー対応。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		絵カードなどのツールを用いて伝えている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		地域住民を招待はしていないが、情報はホームページで公開している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	マニュアルを作成。施設内に掲示	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	年に2回開催している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	虐待防止研修や委員会を設置して対応している	ネット研修を導入。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	個別支援計画に取り入れ、承諾をいただいている。身体拘束記録を記載。	身体拘束等適正化委員会にて、毎月モニタリングを行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	契約時に食物アレルギーについてアンケートを実施	一覧表を作成し見える化を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	直ぐに書けるように現場にも置いてある。パソコンで共有	虐待に繋がる案件となる場合、虐待防止委員会に報告を上げる。